

# 大丸有地区等における グリーン物流と環境交通の総合的な取り組み

平成23年2月7日

大丸有・神田地区等グリーン物流促進協議会  
大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会

# 協議会の構成

## 大丸有・神田地区等グリーン物流促進協議会

会 長：高橋洋二（日本大学総合科学研究所教授）

会 員：日本大学、専修大学、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会、神田駅西口商店街振興組合、秋葉原タウンマネジメント(株)、  
(株)ロジスティックス・ネットワーク、(株)ワールドサプライ、東京都、  
千代田区、警視庁、国土交通省 （順不同）

事務局：(株)エックス都市研究所（事務局長）

## 大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会

会 長：高橋洋二（日本大学総合科学研究所教授）

副会長：水口雅晴（大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会）

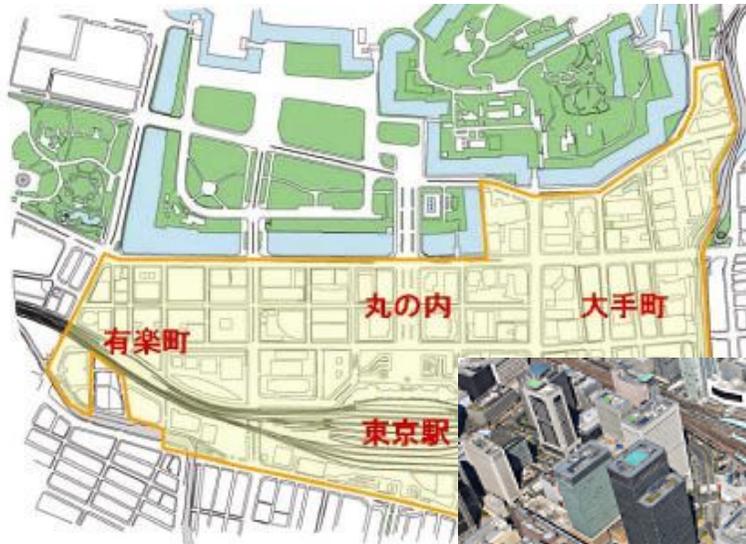
会 員：日本大学、法政大学、専修大学、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会、神田駅西口商店街振興組合、内神田鎌倉町会、秋葉原タウンマネジメント(株)、国土交通省、東京都、千代田区、首都高速道路(株)、NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、(株)日の丸リムジン、三菱商事(株) （順不同）

事務局：(株)エックス都市研究所（事務局長）、ランドブレイン(株)

# 活動フィールド

- 日本経済の中核である東京駅周辺にある大手町・丸の内・有楽町地区(大丸有地区)
- 粋な街・文化の香り漂う街・神田地区
- 世界有数の電気街・秋葉原地区等の連担する地域

大丸有地区



神田地区



秋葉原地区

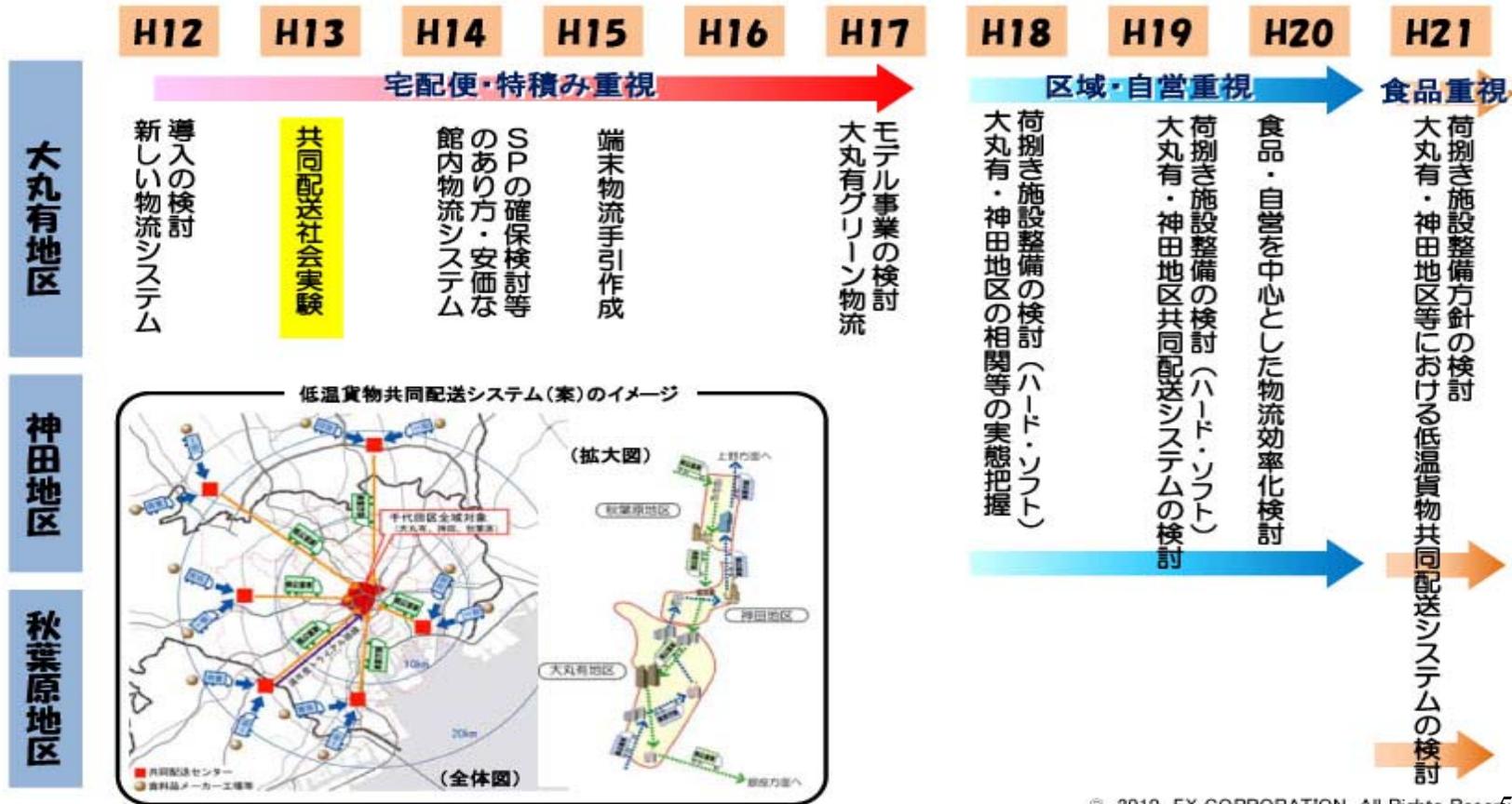


## 活動テーマと取組みのポイント

- ①「グリーン物流」と「環境交通」の総合的かつ持続的取組み
- ②散発的、あるいは分散的なトライアルに留まることを回避するため、大丸有地区とその周辺地区にフィールドを限定
- ③「環境モデル都市」として「経済と環境の調和」という政策テーマの具体化を目指す千代田区及び地元商店街、大学、交通管理者等との連携による継続的取組み

# 大丸有・神田地区等グリーン物流促進協議会 の取り組み概要

## 大丸有・神田地区等における物流効率化の検討経緯



# H13年度に実施した物流TDM 社会実験の概要と成果

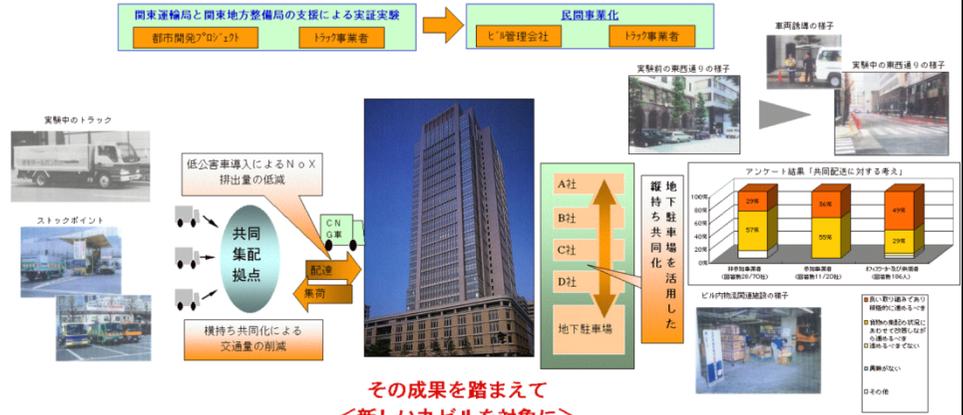


H13年度に実施した共同配送社会実験の様子  
⇒「横持ち」と「縦持ち」共同配送の一体的な実施

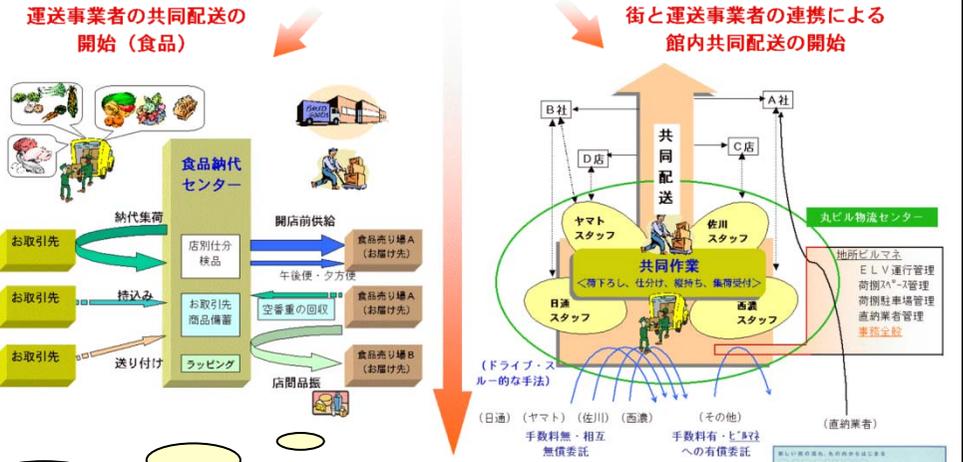
「館内共同配送=縦持ち」は、  
本実験の成果=丸ビルモデル  
を参考にビル再開発計画  
の定石となっている

## 都市再生に寄与する物流TDMの実現を ＜大・丸・有地区＞で推進しています。

＜平成14年2月に国、自治体、事業者、地域の連携により物流TDM実証実験を行いました＞



その成果を踏まえて  
＜新しい丸ビルを対象に＞



そして、継続的に都市再生の実現に  
つながる物流TDMのビジネスモデルの  
検討を行っています。

●丸の内物流効率化実行委員会：高橋洋二・東京商船大学教授（委員長）/石田宏之・豊橋創造大学教授（副委員長）/西濃運輸株式会社/佐川急便株式会社/日本通運株式会社/福山通運株式会社/ヤマト運輸株式会社/カンダコーポレーション株式会社/大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会/社団法人東京都トラック協会/東京路線トラック協議会/三菱地所株式会社ビル事業本部/東京都/千代田区/財団法人東京都駐車場公社/警視庁/関東運輸局/関東地方整備局



# 現在の取組み概要①: 低温貨物共同配送 実証実験

H24年度の本格実施を目指し、築地市場を含む4ヶ所に共同輸配送センターを設置し、食料品の共同配送実証実験を実施中



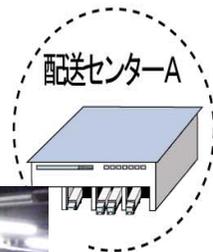
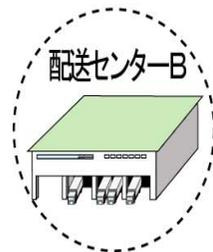


# 現在の取組み概要②：超小型モビリティ及びEVによるデリバリー実証実験

地域交通、物流の革新を促す新たな低炭素実用車両(超小型モビリティ)の開発促進

地域交通・物流におけるCO2削減を着実に実現しつつ、公共交通機関、自転車等ではカバーしにくい領域における、ヒトやモノの移動を円滑化・快適化するため、利便性が高く環境負荷の低い超小型モビリティについて、まちづくりと連携して開発・普及を推進する。  
具体的には、高齢者の通院、女性の買い物、駅や施設への送迎等の短距離移動や、物流の末端における小口輸送での活用を想定。

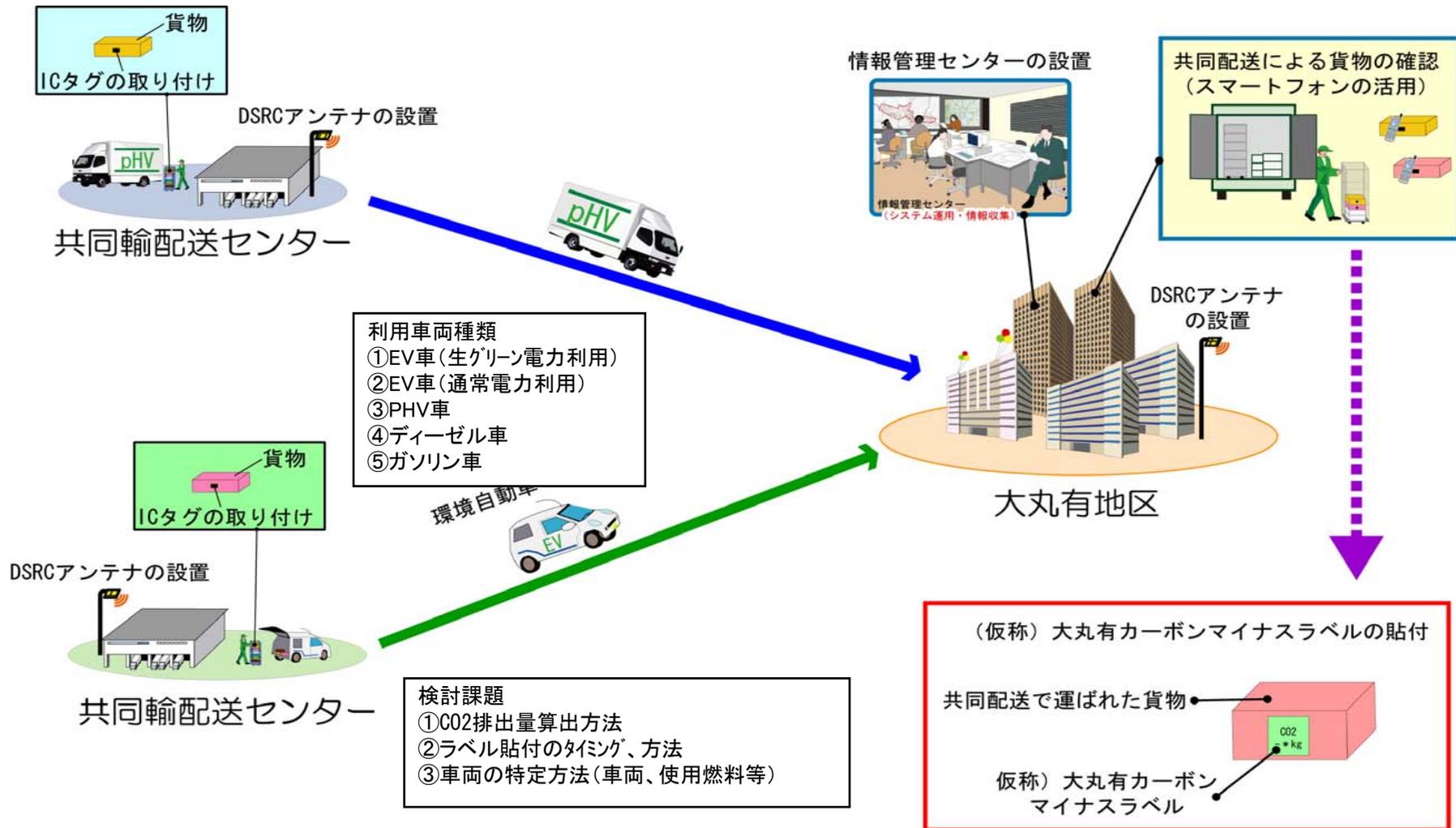
次世代自動車等の地域交通・物流への適正



ミニキャブアイミーブ

# 今後の取組み方向

街サイドが主体となったDSRC等の活用による商品配送におけるCO2削減量の計測・認定(カーボンマイナス)・普及促進システムの研究開発を検討



# 大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会 の取組み概要

- 環境交通のソリューションとして、電気自動車（EV）やハイブリッド車（HV）、さらには自転車等を位置づけ、転換を総合的に促進していくことを目的に協議会を設立
- 2008（H20）年より国の支援策を得て、ステークホルダーとの協議を介し、EVやHVバス、自転車の走行実験を開始し、総じてスムーズに実施
- 1999（H11）年から関係者が「物流の効率化」に取り組んできた蓄積が寄与（グリーン物流と環境交通の連関）

# EV、HVバス、自転車、急速充電器の活用等を組込んだ総合的実証実験の実施概要と成果

実験の成果を踏まえH22年3月よりEVによるコミュニティタクシー「ゼロタクシー」の運行を開始、千代田区もEVカーシェアリング事業を開始

METRO RD MARUNOUCHI

## ■ 第1次実験メニュー概要

### マルチポート型コミュニティサイクル

都心の外資系ホテル等に設置されたレンタサイクルポートからコミュニティサイクルに乗っていただき、観光や買い物などを移動しながら楽しんでいただけます。モニターには、大都市都心部における移動及び観光手段としての「自転車」の可能性等に関するアンケートに回答していただきます。



### ● サイクルポート設置予定地

- 恵比寿(ウェスティンホテル東京)
  - 六本木(ザ・リッツ・カールトン東京)
  - 有楽町(ザ・ペニンシュラ東京)
  - 丸の内(三菱ビル/スカイバスチケットカウンター)
  - 丸の内(丸の内ホテル)
  - 日本橋(マンダリンオリエンタル東京)
- レンタル用の自転車は大人用です。

### ● 自動車による

#### コミュニティタクシーとカーシェアリング・急速充電器活用

【コミュニティタクシー】  
電気自動車を活用した「コミュニティタクシー」に乗り、近距離を走行・移動していただきます。モニターには利便性・快適性等に関するアンケートに回答していただきます。

【カーシェアリング・急速充電器活用】  
電気自動車を活用した「カーシェアリング」と「急速充電器活用」として、まちなか移動(近距離走行)と、東京駅周辺と横浜みなとみらい21地区間での走行・移動をしていただきます。モニターには移動の利便性・快適性、急速充電器等に関するアンケートに回答していただきます。



### ● 運用予定

- コミュニティタクシー
  - 日本パーキングセンター(日本ビル)より乗車
  - 走行範囲と1回あたりの利用時間: 15分で走行できる範囲を限度とし利用時間の最大は30分
- カーシェアリング
  - 日本パーキングセンター(日本ビル)より乗車
  - 1回あたりの利用時間: 最大1時間以内

充電器活用(電気自動車による広域移動)  
1回あたりの利用時間: 最大1時間30分以内  
場所: ランドマーク地下駐車場(横浜みなとみらい)、日本パーキングセンター(大手町)  
首都高大黒埠頭PA、平和島PA(上りのみ)



## 大丸有地区・周辺地区環境交通 第1次社会実験イメージ

### 試験ルート運行循環バス



東京駅周辺地区の丸の内、数寄屋橋(銀座)、八重洲、常盤橋等の観光拠点を回遊する「循環バス」をビジネスや観光、買い物の移動手段として利用していただきます。モニターには、「循環バス」に関するアンケートに回答していただきます。

### ● 運行スケジュール予定

- 運行時間帯
  - 11時~12時
  - 13時~15時
- 運行間隔
  - 15分間隔(10本/日)



無料HVバス丸の内内シャトルの持続的運行

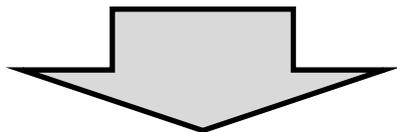
大丸有地区4ヶ所に急速充電器を戦略的に設置

# 事業化によるCO2削減効果

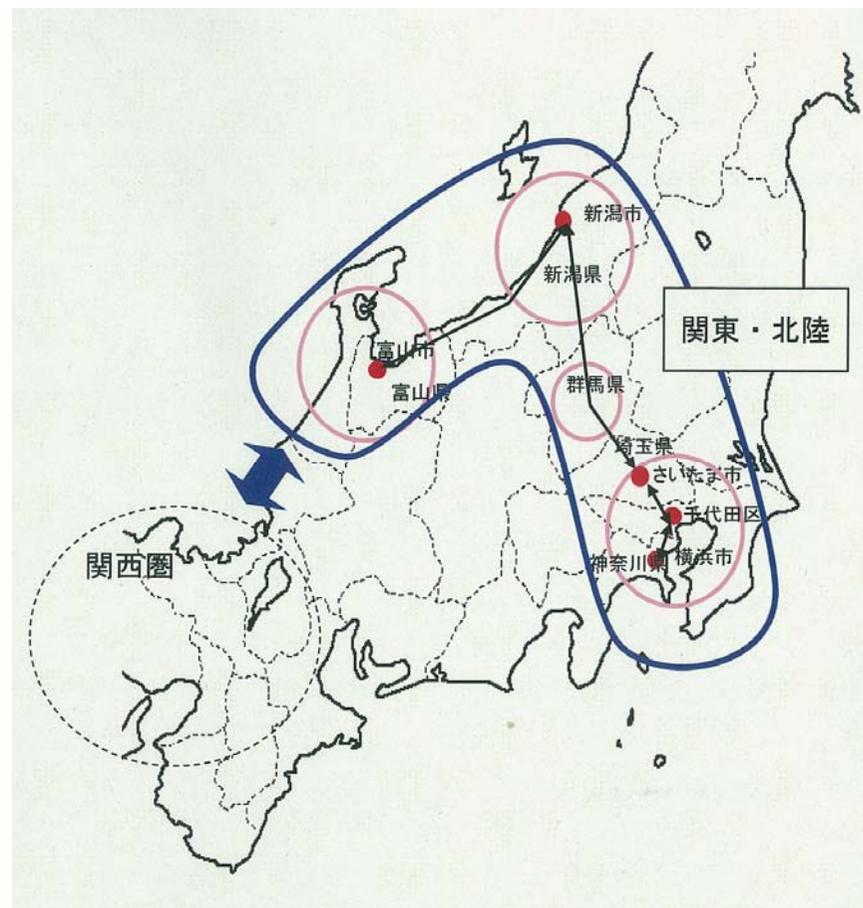
| 事業化したメニュー     | 事業内容と利用者数等(推計)  | CO2削減量  | 備考  |
|---------------|---|---------|---|
| 循環ハイブリッドバスの運行 | 大丸有地区内の約3.5キロメートルを3台のHVバスで運行し、年間約40万人の乗車があると想定(実績ベース) | 15.1t/年 | 交通・観光カーボンオフセットガイドライン(Ver1.2)(2010年6月交通エコロジー・モビリティ財団)の「路線バス」の排出量算定方程式(平均的輸送距離を2kmと設定)により推計し、HVバスの活用により、排出量はその0.635に圧縮されるものとして推計    |
| EVコミュニティタクシー  | 大丸有地区及びその周辺地区を中心に2台のEVタクシーで運行し、30回/日台の乗車があると想定(実績ベース) | 5.8t/年  | 交通・観光カーボンオフセットガイドライン(Ver1.2)(2010年6月交通エコロジー・モビリティ財団)の「タクシー」の排出量算定方程式(平均輸送距離を1.5Kmと設定)により推計し、EVタクシーの活用により、排出量はその0.386に圧縮されるものとして推計 |
| 計             |   | 20.9t/年 |   |

## 「EV・PHV広域連携計画」の方針検討

- 都市特性に対応したEV普及のための促進策及びEVでの都市間移動を促進するインフラ整備・連携のあり方を明確に示し、具体化に向けて取り組むことが不可欠



- 「EV・PHV広域連携計画」の方針検討に積極的に参画し、各自治体の実行計画に可能ならば反映



# 行政、交通管理者等との連携に基づくコミュニティサイクルの具体化に向けた実証実験の実施概要



大丸有地区・周辺地区



## 環境交通 社会実験



千代田区では、環境にやさしい交通体系の構築を目指し、安全で快適な自転車利用のあり方を検討しています。昨年9月から10月にかけて行ないました「大丸有地区・周辺地区環境交通社会実験（マルチポート型コミュニティサイクル、循環バス、電気自動車利用によるコミュニティタクシーとカーシェアリング、急速充電体験）」の第2弾として、神田警察通りの車道での自転車レーン設置・走行実験と管内主要駅周辺でのマルチポート型コミュニティサイクル（自転車のレンタルサイクルネットワーク）利用実験を次の通り行ないます。皆様のご参加をお待ちしております。

**実施日時：** 平成22年1月16日（土）～2月14日（日）の 11時～15時  
ただし、この間の土曜日と日曜日のみの実施となります

### 1) 自転車レーン走行実験

公共空間の有効利用促進を図り、安全で快適な歩行や自転車走行の確保を目的に、自転車レーンを設置して周辺環境や車両交通への影響を調べます。

#### 【自転車レーン設置場所】

- 美土代町交差点～神田駅北口交差点 約580m。
- ※1. 北側車道1車線（既存のパーキングメーター設置車線）をカラーコーンで区画し自転車レーンとします。
- 2. 自転車レーンは、一方通行となりますのでご注意ください。

#### ■ 実験場所



#### ■ 実験期間中の道構成型イメージ



#### 【知っていますか？自転車に乗るときのルール】

- 自転車は左側通行です。
- 自転車は歩行者優先です。
- 自転車は歩行者優先です。歩行者の安全確保のため、歩行者の通行を妨げないよう注意してください。
- 自転車は歩行者優先です。歩行者の安全確保のため、歩行者の通行を妨げないよう注意してください。

自転車レーンの設置・運営

### 2) マルチポート型コミュニティサイクル実験

地区内移動の足として環境に優しい自転車の効率的な利用促進を図るため、自転車の無料貸し出しを行い、コミュニティサイクルのシステム化について広く皆様のご意見を伺います。

#### 【実験場所】

- 千代田区内8箇所にサイクルポートを設置し、各ポート間やその周辺を主体とした業務や買い物、観光などの移動に利用していただきます。
- ※ サイクルポート：コミュニティサイクル自転車の貸出・返却の拠点。

#### 【利用方法】

- モニター登録のうえ、事前予約により利用できます。また、予約に空きがある場合は、一般の方の利用もできます。
- なお、モニターの登録及び利用方法等詳細につきましては、<http://metroad.jp> でご覧下さい。



駅周辺や外資系ホテル等にサイクルポートを設置し運営



# 地元商店街や大学等との連携によるコミュニティサイクルの具体化を目指す実証実験の実施概要



千代田区コミュニティサイクル社会実験

—自転車で環境にやさしいまちづくりと活性化を目指して—

## 自転車の共同利用に参加しませんか



**実験期間** 10/25(月)~11/24(水)  
1ヵ月間実施!  
悪天候の場合は中止とさせていただきます

**利用時間帯** 10:00~18:00  
(貸出は17:30まで)

**貸出自転車** ● 電動アシスト自転車 25台  
● 普通自転車 14台

※子供用自転車、ヘルメットの用意はございません  
※自転車の点検・修理、またはお客様がご利用中によりサイクルポートに自転車がない場合がございます。

**利用料金** 200円/日~ (初回利用時のみ 別途登録料300円)  
※初回利用時のみ登録料300円が必要で、2回目以降は不要となります。  
1日券(200円)で、1日に何回でも自転車の貸出・返却が可能です。  
利用料は1日券の他、3日(回)券、7日(回)券、1ヵ月券もあります。

**利用対象者** アンケートなど社会実験に協力いただける13歳以上の方

千代田区コミュニティサイクル社会実験 サイクルポート位置図



**貸出・返却場所**

- 1 CASA NUOVA SHOP (カー・ノーヴァショップ) 雑貨店
- 2 神田ふれあい通り(錦治町)
- 3 神田明神(神田神社)
- 4 オアシス@akiba
- 5 アーツ千代田3331
- 6 日本大学理工学部9号館
- 7 神田古書センター
- 8 一誠堂書店
- 9 ちよだプラットフォームスクエア ビジネスセンター
- 10 専修大学児童遊園
- 11 法政大学外濠校舎駐輪場

※サイクルポート(貸出・返却場所)により、実施期間、定休日及び利用時間帯が異なりますので、ご注意ください。  
詳しくはホームページをご覧ください  
社会実験ホームページ <http://metroad.jp>  
大丸有社会実験

●実施主体：大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会  
●協力：国土交通省 都市・地域整備局/千代田区  
●管理運営主体：サイカパーキング株式会社  
●問い合わせ：社会実験事務局 (080-5871-6942 (10:00~18:00))



地元大学のキャンパス内や商店街の「のきさき」等にサイクルポートを設置し地元で運営

# 今後の取り組み方向

EV貨物車とEVバス及び「電池推進船」という複数のEVモーダルを活用した、環境、観光、貨物、危機対応（防災）の「4K」を軸とする地域の持続的発展に向けたトライを検討



ご静聴ありがとうございました